

# 「図書館大改造 ビフォー・アフター」と その後の図書館教育」



高槻市立桜台小学校

# 本校の概要

- 創立 昭和44年
- 児童数 524名
- 学級数 23学級(含む支援学級5学級)
- 経済・文化資本に恵まれていない家庭が多い。
- 学力に大きな課題がある。
- →学び合い・家庭学習(自主学習)に取り組んでいる。
- 蔵書数 11,290冊

# これまでの図書館の様子（畳・読書の机のみ）



# 今までの図書の授業



⇒「読書の時間に使うスペース」のみの図書館

# ◀今までの図書館のルール▶

- 各クラス週に1回、時間割内で図書館利用
- **読み物の本**を中心にしていたが、その他にも読んだり、借りたりしていた。
- 調べ学習は、図書館内ではなく各教室で行われていた。
- 調べ学習は、**市の中央図書館**から本を借りていた。

# 子どもたちの図書館のイメージ

- 図書の授業＝「週に一度の癒しの場」
- 自分の好きな本が読める。＝読み物の本(物語・小説)以外  
低学年⇒昆虫図鑑、おかしや小物づくりの本など  
高学年⇒歴史マンガ、サバイバル、占いの本など
- 借りる本も好きな本(図鑑・マンガ・占いなども貸し出し多数)  
借りたい本がなければ借りないという子もいた。
- 読み物の本は長い・面倒くさいと思っている子も数名  
⇒図書の時間になかなか本を選べず、うろうろする子もいた。

# 五十嵐絹子先生との出会い

(元山形県鶴岡市の学校司書)



# 子どもたちが自ら学ぶ場に＝「学びの場」

## ☆五十嵐先生 講演会（昨年度 夏）

- ・「学校図書館の力を活かす～子どもたちに豊かな心と学びを育むために～」
- ・目的の一冊が探せるわかりやすい図書館
- ・教員には図書館を活用した授業実践を
- ・学校司書は、教員をサポートし、子どもと本をつなぐのが仕事  
というような話でした。



# 大改造ビフォー



保護者の方の協力



# ビフォーの取組み

- ・ラベルの張り替え←夏休み初め市内図書館支援員で実施
- ・登録の変更
- ・鳥瞰図の作成
- ・分類表示板の作成←保護者の協力
- ・書架の修理(6段を5段に)←市内の校務員さんをお願い
- ・うわぐつでそのまま入館できるようにした。
- ・保護者の協力依頼 (書架表示板の作成、テプラ分類表示作業など)
- ・教師の協力 (計画の提案)
- ・本の搬入、本並べ、机・いすの搬入
- ・書架の購入
- ・タイムテーブル作り
- ・廊下へ分類番号別の指示票貼り(40センチ)

→多くの人の力を借りました！！

- ・児童の協力

5年生への綿密な指示→図書館の意味理解説明、担当分け

# 大改造の動き

- ・ **五十嵐先生**の助言(朝から)
- ・ **5年生**への綿密な指示(前日から)  
→ 図書館の意味理解、本の搬出、廊下での本並べ
- ・ **保護者**の協力 書架のラベル張り(朝から)
- ・ **教師**の協力(放課後)→ 図書館の意義理解  
本の搬入、本並べ、机・いすの搬入
- ・ 市内の **図書館支援員さん**手伝い(研修を兼ねて)

# 大改造当日の流れ

- 8 : 40 ~ 子どもたちへ説明  
自分の担当の書架から本出し  
→廊下へ平積み
- 10 : 20 ~ 分類表示貼り
- 14 : 40 ~ 教職員協力のもと書架表示  
(鳥瞰図)に従って本を入れる
- 16 : 40 ~ 机・椅子の配架
- 17 : 00 終了

[www.takatsuki-osk.ed.jp/sakuradai/](http://www.takatsuki-osk.ed.jp/sakuradai/)

# 大改造当日



# 大改造後 「読書センター」



913 ア 日本文学

913  
日本文学



913 ア 日本文学

E・ク  
えほん









# 大改造後 「情報センター」





# 改造後の取り組み(改造後すぐ)

(読書センター)

- 図書時間は、読書センターのみの利用(読み物のみ)
- 選んだ本を一時間じっくり静かに読む
- 選べない子への声掛け...うろうろする子を減らす
- 一人一冊必ず読み物の本を借りること

➡全クラスで徹底しました！


(情報センター)

- 利用計画書の作成
- 中央図書館より本の貸し出し

# 授業の様子



# 調べ学習ノート




- ① こんにちは。お久しぶりです。
- ② お久しぶりです。
- ③ お久しぶりです。
- ④ お久しぶりです。
- ⑤ お久しぶりです。
- ⑥ お久しぶりです。
- ⑦ お久しぶりです。
- ⑧ お久しぶりです。
- ⑨ お久しぶりです。
- ⑩ お久しぶりです。

調べるべきは？

- ① こんにちは。お久しぶりです。
- ② こんにちは。お久しぶりです。
- ③ こんにちは。お久しぶりです。
- ④ ……

どちらの意図か?

メールでだけでは、伝わりにくい。



二月 貝百トラブル 買い物編

いつでもどこでも欲しい品物をすぐに買えるのがインターネットのショッピングのみではなくて、買い物をするまえに相手は本当に欲しいのか、もう一度考えてみましょう。商品の情報だけではなく、支払い方法、商品の発送時、業者の名前や所、送料、お安くさきなどが表示されているかなど、そのショップが信らいてくる相手がどうかし、ガリガリにんごることも大切だ。

データファイル

使いたいパソコンやパソコンでインターネットショッピングをしたことがある

小学6年生	8.0%
中学2年生	16.1%
高校2年生	39.1%

使いたくないパソコンでネットショッピングを利用したことがある

小学6年生	5.3%
中学2年生	9.5%
高校2年生	22.2%

中学生の1ヶ月のおおざかりの金額

1000円未満	0.4%
1000円以上1500円未満	9.7%
1500円以上2000円未満	17.6%
2000円以上3000円未満	21.1%
3000円以上	31.3%
1000円以上2000円未満	6.9%

データファイル

お気に入りの買ったものを思い出してあげてみたことがある

中学生	28%
高校生	9.4%

買ったものが、思い出さなかった

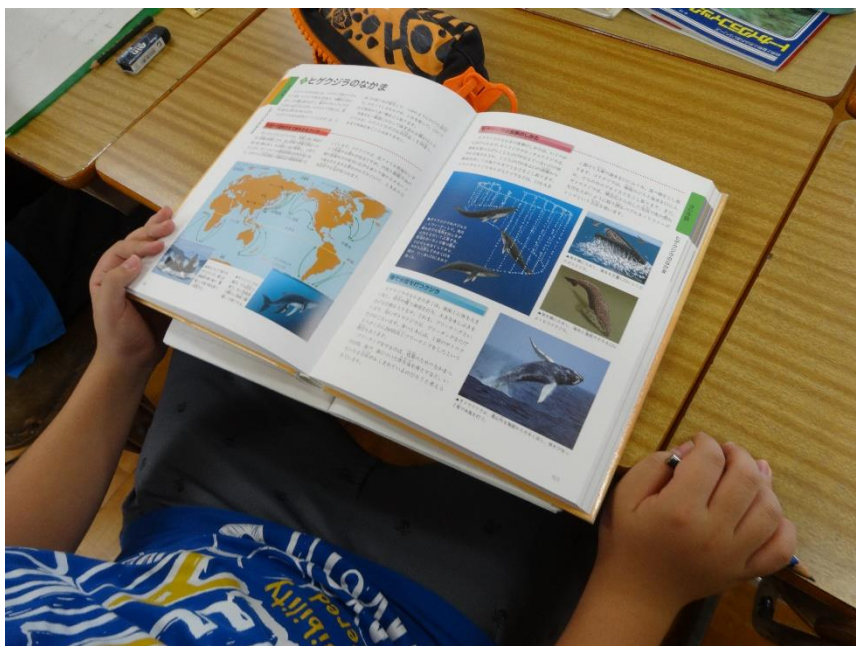
中学生	8.5%
高校生	5.5%

# 現在の取り組み（組織）

- ・研究部(教科教育部)と活動部(図書館教育部)同時に図書館教育の推進を進めている。
- ・教科教育部
  - 情報センターの計画書作成
    - 読み聞かせ(教師・子ども)期間の設定
    - 読書推進の提案(読書貯金→題名・内容・感想・ページ)
    - 朝勉強に読書タイム(毎日)
- ・図書館教育部
  - 図書委員会で読書推進提案



# 授業とリンクさせた活用を行っています！



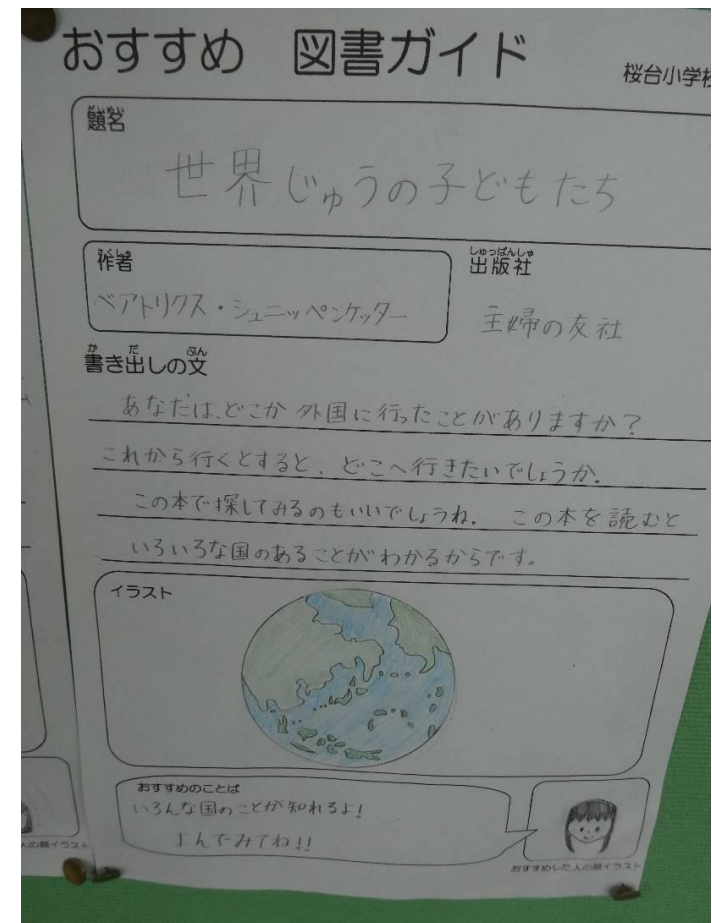
# 読書センター時間割

	月	火	水	木	金
1					
2	5-2	3-1		1-1	4-3
3	6-1	2-1		1-2	3-2
4	6-3	2-2		1-3	3-3
5	4-2	2-3		5-1	5-3
6	6-2	4-1			

2つのセンターを同時に使っています！！



# 図書委員会 おすすめの本





# オススメの本





# 授業の様子



# 現在の子どもの様子

## 図書時間

- ・うろうろする子がなくなった  
＝読み物の本を選べるようになった
- ・きちんと静かに集中して本を読めるようになった(45分)
- ・本を2冊借し出せるようにした  
(読み物は必ず一冊、情報センターの本は借りたい人のみ一冊)

## 子どもたちの読書

- ・朝学習や、空き時間、家に帰って読み物の本をじっくり読めるようになった
- ・シリーズものの本などは、借りる冊数が増えた(続きを楽しみにしている)

## 情報センター

- ・課題の本がすぐに探せるようになった。
- ・グループで交流しながら知識を増やせるようになった。
- ・気になったことがあると、関連する本を選び、知識を増やすことができるようになった。

# 今後目指すもの

## ～学力向上について～

- 研究委嘱①「**家庭学習とその授業のあり方**」  
自主学習ノート **探求的な課題**
- 研究委嘱②**連携型小中一貫教育**  
「**学び合い**」の**授業**とリンク  
調べ学習＋**思考**＋表現